

修学旅行新聞

発行所 財団法人 全国修学旅行研究協会
 発行人 鴻田好通
 〒102-0074 東京都千代田区九段南
 2-6-8 九段南ビル
 ☎ 03(5275)6651
<http://shugakuryoko.com>
 e-mail shuryo@h2.dion.ne.jp

財団法人全国修学旅行研究協会(全修協)は、日本の教育の振興に寄与することを目的とし、教育を熱愛し子供たちの幸福を希求する人々の支持を得て、修学旅行の改善向上を目指して、全国的規模で活動する文部省許可の教育研究財団です。

「総合的な学習の時間」を 修学旅行に活用が57%と回答

「これからの修学旅行の在り方」より
 全国公立小・中・高校意識動向調査-全修協調査-

(財)全国修学旅行研究協会(谷合良治理事長)は、2002年度からの新学習指導要領の実施(高校は2003年度)による「総合的な学習の時間」の導入や「学校完全週5日制」によるこれからの修学旅行との関わりについて、全国の公立小・中・高校並びに私立高校(全国から抽出した770校)を対象に意識動向調査を実施した。

調査は、①教育改革と修学旅行の関わりについて、②これからの修学旅行について①の二つの項目を中心に、「新しい学校教育における修学旅行の在り方」について現職の校長及び教諭の意識を探り、「これからの修学旅行の在り方」を捉えようとしたものである。

1. 「総合的な学習の時間」との関わり
 「大いに活用する」と併せて、前・事後学習を含めた「総合的な学習の時間」の活用を考えている。校種別では、小・中学校で「活用する」が最も多く、「大いに活用する」と併せると小学校で74%と理論から

2. 「学校週5日制」での修学旅行の実施曜日
 全体で52%が「土・日」を避ける「土・日」は38%であった。

3. 学校週5日制での修学旅行の実施曜日
 全体で52%が「土・日」を避ける「土・日」は38%であった。

4. 学校週5日制での修学旅行の実施曜日
 全体で52%が「土・日」を避ける「土・日」は38%であった。



初めての沖縄でサトウキビ収穫から黒糖作りまでを体験 (伊丹市立荒牧中学校)

沖縄県(商工労働部)観光企画課が発表し、平成12年の沖縄への入域観光客数の動向によると、平成12年の観光客数は凡そ451万人で1月から3月までは月別の過去最高記録を更新したものの、4月から8月までは対前年同月比でマイナスとなった。

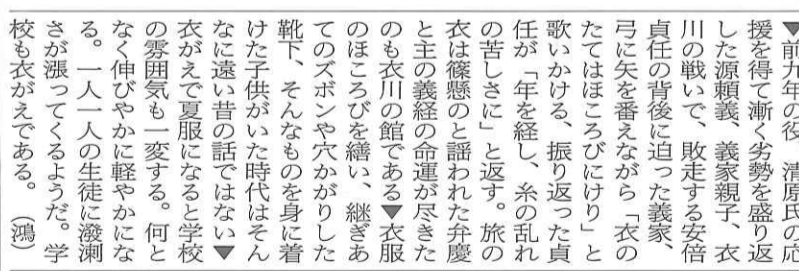
公立中学校の沖縄修学旅行が増加へ
 沖縄への入域観光客は451万人
 沖縄県(商工労働部)観光企画課が発表し、平成12年の沖縄への入域観光客数の動向によると、平成12年の観光客数は凡そ451万人で1月から3月までは月別の過去最高記録を更新したものの、4月から8月までは対前年同月比でマイナスとなった。

沖縄への入域観光客は451万人
 沖縄県(商工労働部)観光企画課が発表し、平成12年の沖縄への入域観光客数の動向によると、平成12年の観光客数は凡そ451万人で1月から3月までは月別の過去最高記録を更新したものの、4月から8月までは対前年同月比でマイナスとなった。

沖縄への入域観光客の推移(平成10年~平成12年)

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成10年	3,181	3,105	3,898	3,202	2,922	3,065	3,999	4,912	3,513	2,980	3,320	3,168	41,265
平成11年	3,344	3,411	4,331	3,483	3,278	3,500	4,407	5,226	3,735	3,735	3,719	3,418	45,587
平成12年	3,358	3,874	4,534	3,478	3,229	3,372	3,401	4,968	3,929	3,763	3,749	未集計	41,655

※平成12年計は、11月までの累計です。



夢と感動の修学旅行
 人が好き。地球が好き。旅がスキ。
 近畿日本ツーリスト
 運輸大臣登録旅行業第20号 (社)日本旅行業協会会員

楽しい旅に大きな安心。
 TOKIO MARINE
 「学校旅行総合保険」をおすすめします。
 東京海上火災保険株式会社
 本店 東京都千代田区丸の内1-2-1 ☎03-3212-6211(代表)

修学旅行実施事例紹介 15

ふれる、感じる修学旅行・沖縄

兵庫県伊丹市立荒牧中学校

1. 旅行内容
旅行期日…平成13年5月15日(火)～17日(木)
(2泊3日)
参加人員…3年生217名



紅芋チップス作りを体験

学校紹介
伊丹市立荒牧中学校
中尾一二三校長、生徒数628名。昭和55年(1980)市の北端部に開校。開校当初より、県指定の「体力づくり推進校」としての研究を受け継ぎ、恵まれた環境を活用し、全員参加の部活動や日々の生徒会活動に加え伊丹市の姉妹都市(中国・佛山市、ベルギー・ハッセルト市)との国際交流にも積極的に取り組んでいる。

2. 旅行実施まで
昨年まで、東京及び九州方面への修学旅行を行っていたが、平成13年度から飛行機を利用し、沖縄へと方面を変更した。
①伊丹市内の学校であることから航空機の利用を考えた。
②日本国内でありながらも沖縄(琉球)を生徒に感じさせたい。
③生きた平和学習と体験学習を行いたかった。

3. 学習内容
(1)平和学習(第1日)
平和祈念公園と佐喜真美術館で沖縄戦と普天間基地の話を行う。
(2)体験学習①(第2日)
マリンスポーツ体験。マリンスポーツで、カヌー、サバナ、ヨット、バナナボート等5種類のマリンスポーツを体験。
体験学習②(第3日)
沖縄体験学習研究会と地元農家の受入れ協力により、「さとうきび収穫から黒糖作り」「紅芋の収穫と紅芋チップス作り及び試食」「パインの収穫作業とパインジャム作り」。



黒糖作りにチャレンジ

4. まとめ
気候、風土の違う沖縄の地に来たという実感をもち、生徒も喜んでいました。特に、初めての収穫作業に、とまどいながらも、修学旅行が出来たことは大きな成果であった。

Table with 2 columns: 日程 (Schedule) and 行動内容 (Activities). It details the itinerary for the school trip, including travel times and specific activities like museum visits and hands-on learning.

教育の窓

問題行動の防止のため、今後一層充実すべき施策としての「(一)心の問題への対応」については、先月号で述べた。以下、「社会性の育成」「連携の在り方」などについて、報告書に沿って述べる。



渡部 邦雄

東京農業大学教授
元文部省主任視学官

問題行動への対応策(2)

具体的な対応策
(一)児童生徒の社会性を育む教育の展開
この箇所では、今日の児童生徒の中に、コミュニケーション能力、ついた活動が行われて対人関係適応能力、自覚している、各々が表現力などの低下が見られること、自律心、習の時間などで実施可能な内容を示している。

「(二)学校、家庭、地域社会、関係機関をつなぐ」行動連携のシステム作り
このことに関しては、学校、PTA、教育委員会の連携、関係機関の連携、地域住民、関係機関の連携、市町村や中学校区単位で、教育委員会等の行政が中心になって、児童生徒の問題行動への対応は、学校や家庭(教育センター、少年補導センター、警察少年鑑別所、保護観察所、児童相談所、家庭児童相談室、精神保健福祉センター、保健所等)、保護司(会)、児童委員、民間団体などが、単なる「情報連携」に止まることなく、「行動連携」として実効性のあるネットワークを構築する必要がある。これは、ゆるやかなネットワークとして、各機関代表による協議の場を設けることなど、問題行動への対応に必要とされている。

「(三)学校、家庭、地域社会、関係機関をつなぐ」行動連携のシステム作り
このことに関しては、学校、PTA、教育委員会の連携、関係機関の連携、地域住民、関係機関の連携、市町村や中学校区単位で、教育委員会等の行政が中心になって、児童生徒の問題行動への対応は、学校や家庭(教育センター、少年補導センター、警察少年鑑別所、保護観察所、児童相談所、家庭児童相談室、精神保健福祉センター、保健所等)、保護司(会)、児童委員、民間団体などが、単なる「情報連携」に止まることなく、「行動連携」として実効性のあるネットワークを構築する必要がある。これは、ゆるやかなネットワークとして、各機関代表による協議の場を設けることなど、問題行動への対応に必要とされている。

「(四)学校、家庭、地域社会、関係機関をつなぐ」行動連携のシステム作り
このことに関しては、学校、PTA、教育委員会の連携、関係機関の連携、地域住民、関係機関の連携、市町村や中学校区単位で、教育委員会等の行政が中心になって、児童生徒の問題行動への対応は、学校や家庭(教育センター、少年補導センター、警察少年鑑別所、保護観察所、児童相談所、家庭児童相談室、精神保健福祉センター、保健所等)、保護司(会)、児童委員、民間団体などが、単なる「情報連携」に止まることなく、「行動連携」として実効性のあるネットワークを構築する必要がある。これは、ゆるやかなネットワークとして、各機関代表による協議の場を設けることなど、問題行動への対応に必要とされている。

古代文化 邪馬台国ルート 吉岐へ...

魏志倭人伝に一支国の名で記されている。古代大陸交流の要としてクニを構えていた吉岐。イルカとの共生をはじめ自然とのふれ合いが出来る絶好の教育旅行の場としてお勧めします。

吉岐教育旅行受入協議会事務局
九州郵船

TEL (092) 281-0831
FAX (092) 281-0444
URL http://www.mapion.co.jp

動物たちとふれあいながら楽しく学ぶ。



●営業受付時間
9:00～17:00 (3月16日～11月15日)
9:30～16:00 (11月16日～3月15日)
●修学旅行料金(消費税含む)
高校生 1,200円 中学生 900円
小学生 800円
※ガイドラジオ バス1台につき1,100円

九州自然動物公園
アフリカンサファリ
〒872-0722 大分県宇佐郡安国院町大字南畑
TEL(0978)48-2331代 FAX(0978)48-2330

ジャングルバスチャーター料金1台17,000円(通常21,000円・定員30～35名)